

# 全体構成

1. 事前学習（動画視聴想定）
  2. 集合研修①
    - ・ 自校のディプロマポリシーの分析、共有
    - ・ 好事例のシナリオ分析
    - ・ 産業界のニーズ分析
  3. 集合研修②
    - ・ ディプロマポリシーと対応したカリキュラムマネジメント
    - ・ カリキュラムマネジメントー課題解決プラン検討
    - ・ カリキュラムマネジメントー評価規準検討
- 
- 研修成果物：自校のカリキュラムマネジメントに活用できる
    - ・ 課題解決プラン
    - ・ 効果測定のための評価規準
  - 研修受講後、現場での伝達研修の実施／現場での実践をレポート

文部科学省 令和5年度

専修学校教育の質保証・向上を進めるために必要な教職員研修プログラム開発事業

# 職業実践専門課程 産学連携推進のための 教員スキルアップ研修

<検証版>



1

# 事前学習



# 研修の目的

職業実践専門課程において産学連携を推進する先生方が  
企業と協働する意義、価値を再確認するとともに、  
その実現に必要な考え方、姿勢、スキルについて  
気づきを得て、次に活かす機会とする



これからの社会で活躍できる人材育成のために  
産学連携を“キャリア教育”の視点でアップデート！



# 職業実践専門課程とは

専門学校のうち、企業等と密接に連携して、  
最新の実務の知識・技術・技能を身につけられる  
実践的な職業教育に取り組む学科を  
文部科学大臣が「職業実践専門課程」として認定



**これからの社会で活躍できる人材育成が目的**



# 職業実践専門課程の認定学科の特長

## その1

企業等が参画する「教育課程編成委員会」を設置してカリキュラムを編成している

## その2

企業等と連携して、演習・実習等の授業を実施している

## その3

企業等と連携して、最新の実務や指導力を修得するための教員研修を実施している

## その4

企業等が参画して学校評価を実施している

## その5

学校のカリキュラムや教職員等についてHPで情報提供している



**卒業後、学生たちはどんな未来社会を生きるのか。**

**どんなキャリアを切り拓くのか。**

**その時に、どんな力が必要になるのでしょうか？**



# 前提となる考え方

## キャリア教育

**一人一人の社会的・職業的自立に向け、  
必要な基盤となる能力や態度**

普通教育，専門教育を問わず  
様々な教育活動の中で実施される。

## 職業教育

**一定又は特定の職業に従事するために  
必要な知識，技能，能力や態度**

具体の職業に関する教育を通して行われる。  
この教育は，社会的・職業的自立に向けて  
必要な基盤となる能力や態度を育成する上  
でも，極めて有効である。



# 前提となる考え方

## キャリア教育

キャリア教育には職業教育が含まれる

## 職業教育

社会が大きく変化する時代においては、特定の専門的な知識・技能の育成と共に、**多様な職業に対応し得る、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度の育成が求められている。**このような能力や態度は、**具体の職業に関する教育、とりわけ体験を通して育成していくことが極めて有効である。**

(文部科学省 キャリア教育とは何か)



# 研修の目的

職業実践専門課程において産学連携を推進する先生方が  
企業と協働する意義、価値を再確認するとともに、  
その実現に必要な考え方や視点を得、  
カリキュラムに実装する準備の機会とする



これからの社会で活躍できる人材育成のために  
産学連携を“キャリア教育”の視点でアップデート！



# 研修のコンセプト

現在の実践  
ふりかえり

産業の変化  
ニーズ

掛け合わせ＝アップデートの視点

キャリア教育



# キャリア教育の定義

## キャリア教育とは・・・

「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」（平成23年1月31日）中央教育審議会

一人一人の**社会的・職業的自立**に向け、  
必要な基盤となる**能力**や態度を  
育てることを通して、  
キャリア発達を促す教育



# 辞書を引いてみると・・・

## ■ キャリア (career)

1. 競争するための道路
2. 道に沿って人が進むこと
3. 経歴、生涯、履歴
4. 生活手段、職業
5. (職業での)成功、出世、発展、進展



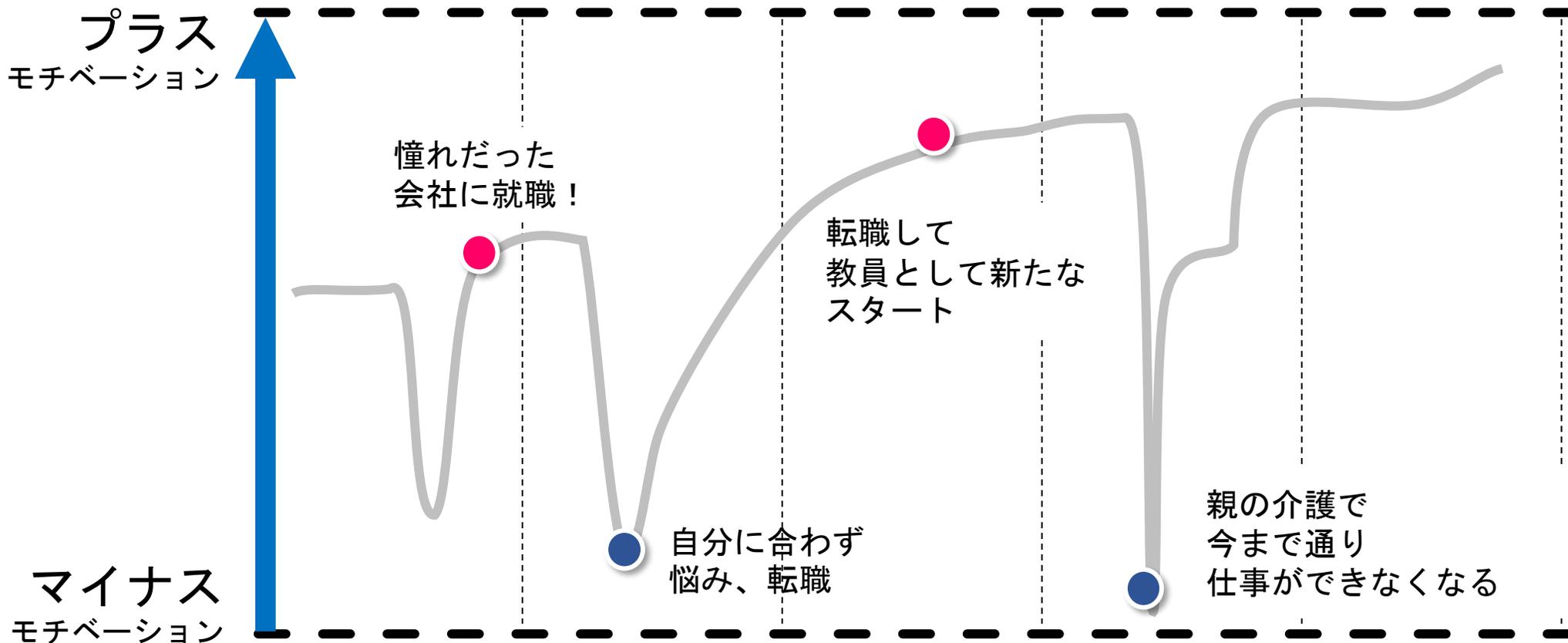
# キャリアをとらえる

worksheet



ワーク

自分のキャリアを、  
ふりかえってみましょう。



# キャリアをとらえる

大きく揺れ動いた時、  
あなたは、どんな立場で、何をしていましたか？

それぞれの立場で果たしてきた**役割**、  
その**連なり**・**積み重ね**が、今の自分。

それが、あなたの**キャリア**です。



# キャリア発達の定義

社会の中で

自分の役割を果たしながら、

自分らしい生き方を実現していく過程



学生は、今「キャリア」を  
どのようにとらえているでしょう？



# 学生から社会人へ

意志

【WILL】

能力

【CAN】

役割

【MUST】

自分の今の**意志・役割・能力**と

めざす姿とのギャップを埋めることが

これからのキャリア発達につながる



# キャリア発達に大切な視点

**意志【WILL】**

やりたいこと、成したいこと、興味、情熱

**能力【CAN】**

具体的にいかせる知識、つかえる技能、技術

**役割【MUST】**

果たすべき役割、専門性にともなう責任、責務



# キャリア発達に大切な視点

意志  
【WILL】

能力  
【CAN】

役割  
【MUST】

これからの社会では

**「能力」＝知識、技能、技術  
だけでは自己実現が難しい**

意志・役割・能力、  
バランスのとれた発達が重要





これからの社会に必要な  
意志・役割・能力には、  
どんな力が含まれると思いますか？



# 【参考】社会で求められる力

社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度

## 基礎的・汎用的能力

人間関係形成・ 社会形成能力	自己理解・ 自己管理能力	課題対応能力	キャリア プランニング能力
具体的な要素（例）	具体的な要素（例）	具体的な要素（例）	具体的な要素（例）
他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップなど	自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機づけ、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動など	情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善など	学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善など



社会で必要となる力を育てるために

職業実践専門課程の学び（≡カリキュラム）は

現在なにができていて・今後どうあるべきでしょうか？





## ワーク

自校・学科の現在の取り組みを整理する

- ① 目的—WHY
- ② 何を—WHAT
- ③ いつどこで—WHEN／WHERE
- ④ 誰と—WHO
- ⑤ どのように評価しているか—HOW
- ⑥ この取り組みの特徴—FOCUS



# 自校の実態を整理する

worksheet

項目	概要
WHY なぜ	
WHAT なにを	
WHEN/WHERE いつ/どこで	
WHO 誰と連携して	
HOW どのように評価して	
FOCUS 貴学科ならではの要素 —どんな特長があるか —どんなが成果があるか	





## ワーク

自校・学科の**ディプロマポリシー**を読んで  
どんな人材を学科として育てたいのか  
**意志・役割・能力**で整理してみましよう



# 自校のディプロマポリシーを読み解く

worksheet

自校・学科のディプロマポリシーを書き出してみましょう



ディプロマポリシーから読み取れる育てたい人材像（意志・役割・能力）



# 次の研修の予告～主要内容～

集合研修で、他の先生方とともに  
職業実践専門課程の“産学連携”の課題や可能性を考えます

## 1. 今回のワークシート

「自校・学科の職業実践専門課程とディプロマポリシーを整理する」

を使い、それぞれの取り組みを共有します

## 2. 先進的な取り組みを行っている学校・教員の事例（シナリオ）を 分析し、自校・学科にいかせる点を検討します

## 3. 産業界のニーズをふまえ、未来志向で“産学連携”を検討します



## 2 集合研修：前半

# 研修の目的

職業実践専門課程において産学連携を推進する先生方が  
企業と協働する意義、価値を再確認するとともに、  
その実現に必要な考え方や視点を得、  
カリキュラムに実装する準備の機会とする



これからの社会で活躍できる人材育成のために  
産学連携を“キャリア教育”の視点でアップデート！

# 本日の学び

1	【導入】 ディプロマポリシーから読み解く人材像の共有
2	【演習】 シナリオ分析ワーク①カリキュラムデザインの視点
3	【演習】 シナリオ分析ワーク②カリキュラムアップデートの視点
4	【講義】 産業界ニーズを知る
5	【演習】 これからの「企業との連携」はどうあるべきか？

社会で必要となる力を育てるために

職業実践専門課程の学び（≡カリキュラム）は

現在なにができていて・今後どうあるべきでしょうか？



ワーク

ディプロマポリシーを読んで  
どんな人材を学科として育てたいのか  
意志・役割・能力で整理した内容を  
共有しましょう（グループ）

社会で必要となる力を育てるために

職業実践専門課程の学び（≡カリキュラム）は

現在なにができていて・今後どうあるべきでしょうか？



ワーク

## シナリオ分析ワーク① カリキュラムデザインの視点

ディプロマポリシーでめざす人材を  
育てる機会として産学連携はどうあるべきか。  
シナリオ（前半）を読み、  
カリキュラムのポイントを分析しましょう。

# シナリオ分析ワーク①

worksheet

ピンクの部分を読み取り、メモしましょう

産学連携を通じ 育成したい 意志・役割・能力		
ワーク	①シナリオ分析から見えたポイント	②アップデートするなら
企業との連携		
校内体制づくり		
学びの系統性		
資質能力の評価		

項目＝カリキュラムを分析するポイント

# 分析結果共有

- ああああああああああああ

シナリオ分析を通して、  
職業実践専門課程のカリキュラムデザインにおいて  
最も重要なことは何だと考えますか？



ワーク

## シナリオ分析ワーク②

### カリキュラムアップデートの視点

シナリオ（後半）を読み、どのように  
カリキュラムをアップデートできそうか、  
どんなことができそうか・  
やってみたいか、考えてみましょう。

# シナリオ分析ワーク②

worksheet

産学連携を通じ 育成したい 意志・役割・能力		
ワーク	①シナリオ分析から見えたポイント	②アップデートするなら
企業との目的共有		
学校内体制づくり		
学びの系統性		
資質能力の評価		

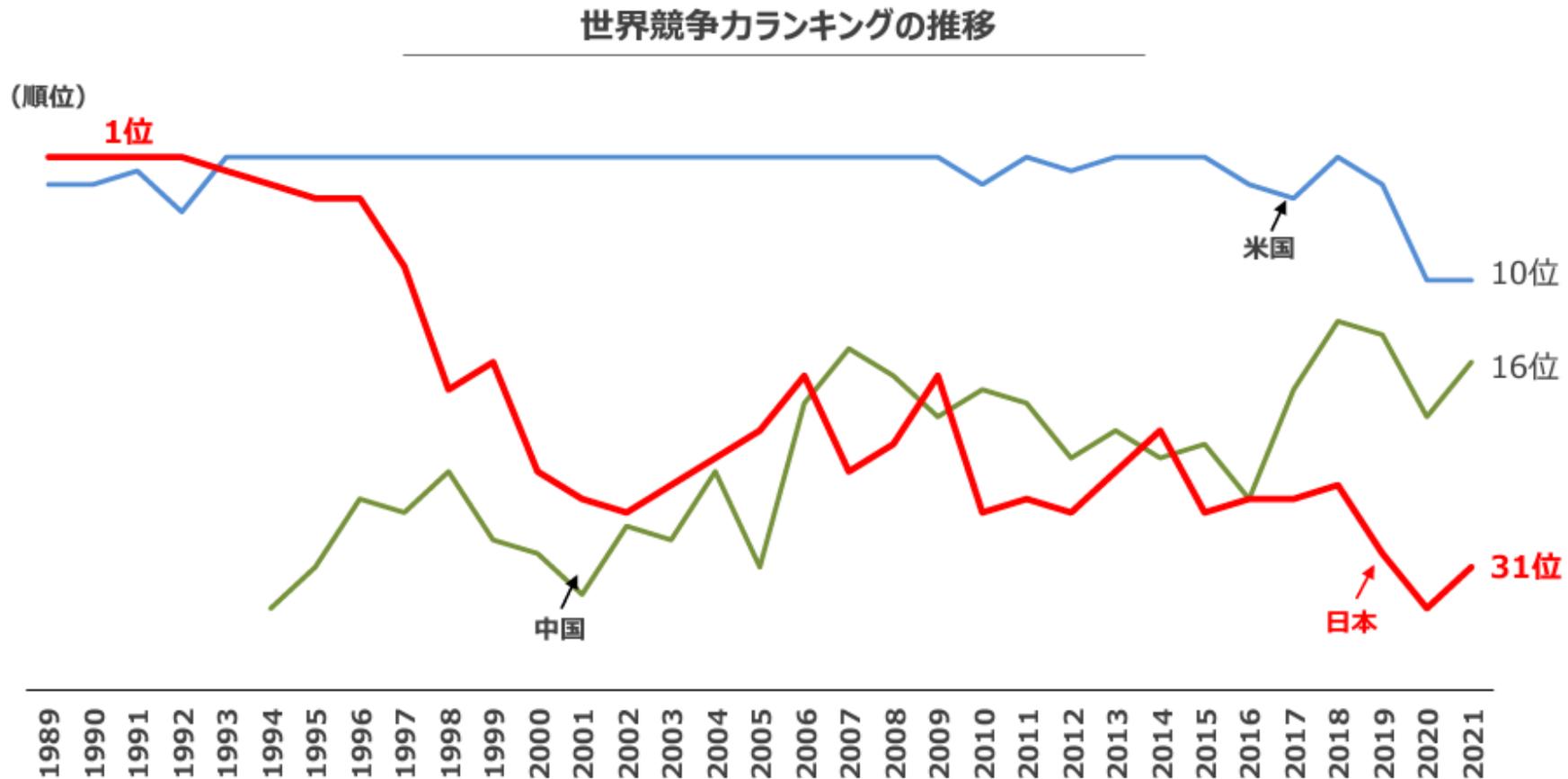
# 分析結果共有

- あああああああああああ

社会で必要となる力、は  
産業界のニーズとともに常に変化しています。  
“産学連携”の未来は、どうあるべきでしょう？

# 【経済産業省】日本の未来ビジョン

日本の国際競争力は、この30年で1位から31位に落ちた。



# 産業の未来—創造社会

This is **Society 5.0** (創造社会)



## 教育・人材育成への期待

### 方向性

- 他人と異なる**異質な考えや能力**を褒めて伸ばす方向に大きく転換
- **失敗を恐れずに挑戦**することを奨励
- 根性論ではなく**論理的思考力の土台**の上に展開される想像力と創造力が必要

### 必要となるリテラシー

- 知識を活用し**自分で考える力**
- 文章や情報を正確に読み解く力
- 自らの**意思や考えを正しく的確に表現**し伝える力
- 科学的・論理的に思考する力
- 感性、好奇心、探究力
- 倫理観
- 情報科学・数学・統計・生命科学などの基礎的な知識

# 産業の未来—求められる能力等

## 56の能力等に対する需要

2015年	
注意深さ・ミスがないこと	1.14
責任感・まじめさ	1.13
信頼感・誠実さ	1.12
基本機能（読み、書き、計算、等）	1.11
スピード	1.10
柔軟性	1.10
社会常識・マナー	1.10
粘り強さ	1.09
基盤スキル※	1.09
意欲積極性	1.09
⋮	⋮

※基盤スキル：広く様々なことを、正確に、早くできるスキル

2050年	
問題発見力	1.52
的確な予測	1.25
革新性※	1.19
的確な決定	1.12
情報収集	1.11
客観視	1.11
コンピュータスキル	1.09
言語スキル：口頭	1.08
科学・技術	1.07
柔軟性	1.07
⋮	⋮

※革新性：新たなモノ、サービス、方法等を作り出す能力

(注) 各職種で求められるスキル・能力の需要度を表す係数は、56項目の平均が1.0、標準偏差が0.1になるように調整している。

(出所) 2015年は労働政策研究・研修機構「職務構造に関する研究Ⅱ」、2050年は同研究に加えて、World Economic Forum “The future of jobs report 2020”, Hasan Bakhshi et al., “The future of skills: Employment in 2030”等を基に、経済産業省が能力等の需要の伸びを推計。

# どんな人材が求められるのか？

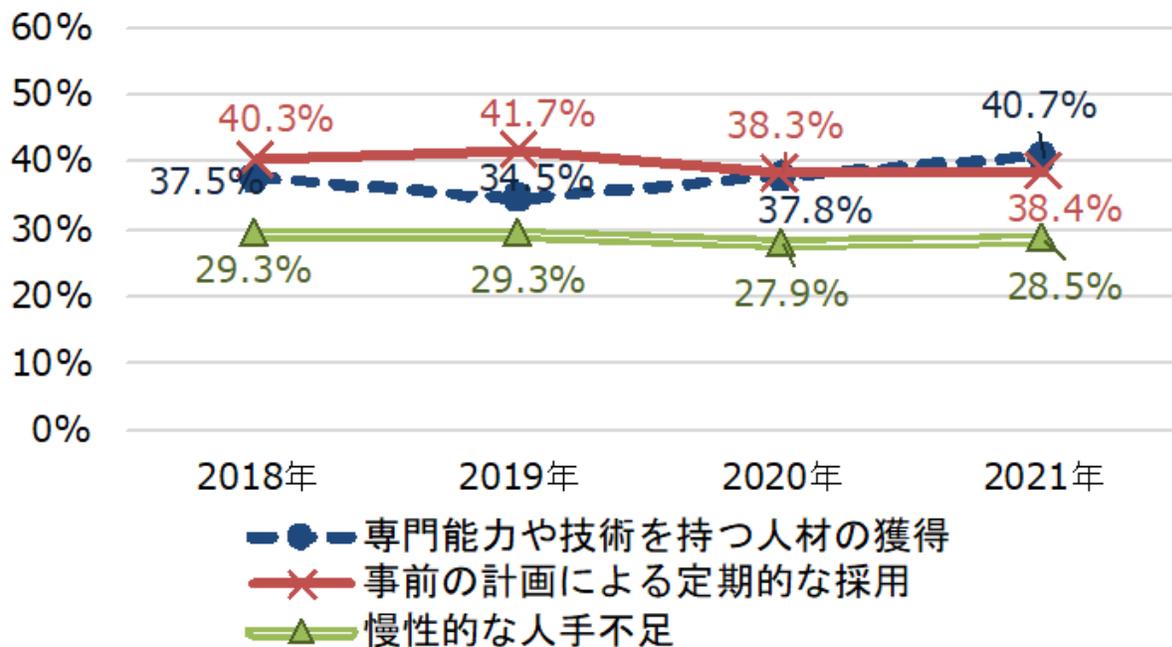
新たな未来を牽引する人材が求められる。

それは、好きなことにのめり込んで豊かな発想や専門性を身に付け、多様な他者と協働しながら、新たな価値やビジョンを創造し、社会課題や生活課題に「新しい解」を生み出せる人材である。

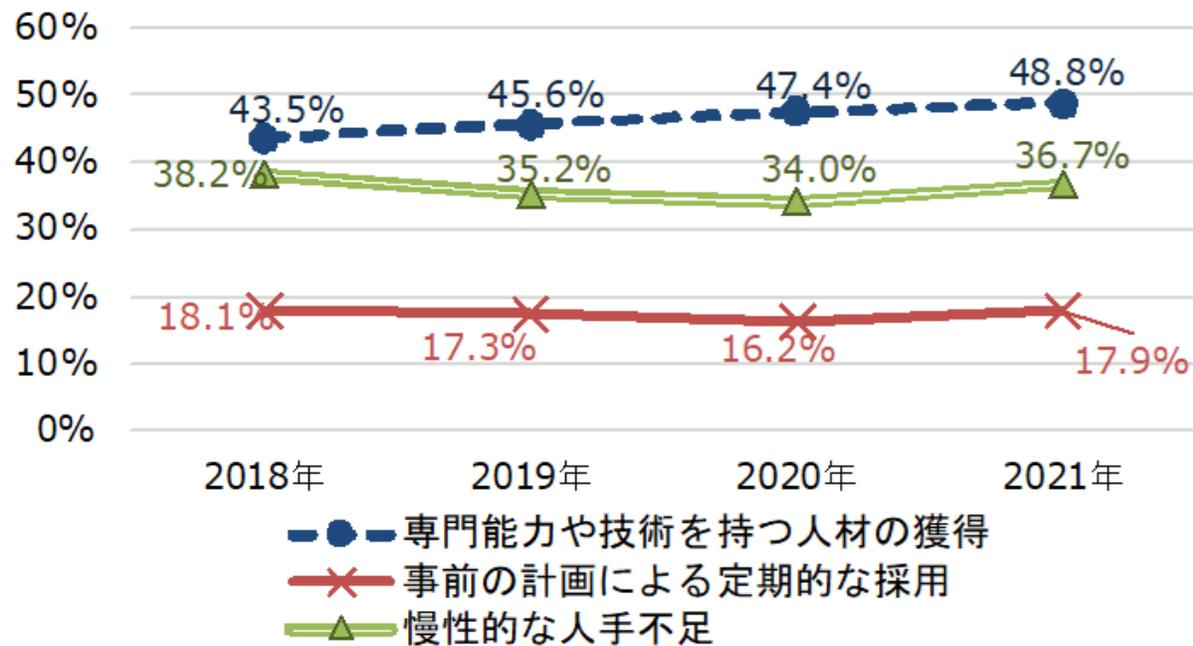
出典：経済産業省 未来人材ビジョン(令和4年5月)

# ”専門性”の重要性

【図1】 <新卒> 「採用の理由」の推移（上位3つ）



【図2】 <中途> 「採用の理由」の推移（上位3つ）



出典：マイナビ人材ニーズ調査  
[https://saponet.mynavi.jp/column/detail/s\\_saiyo\\_s01\\_s20220127135334.html](https://saponet.mynavi.jp/column/detail/s_saiyo_s01_s20220127135334.html)



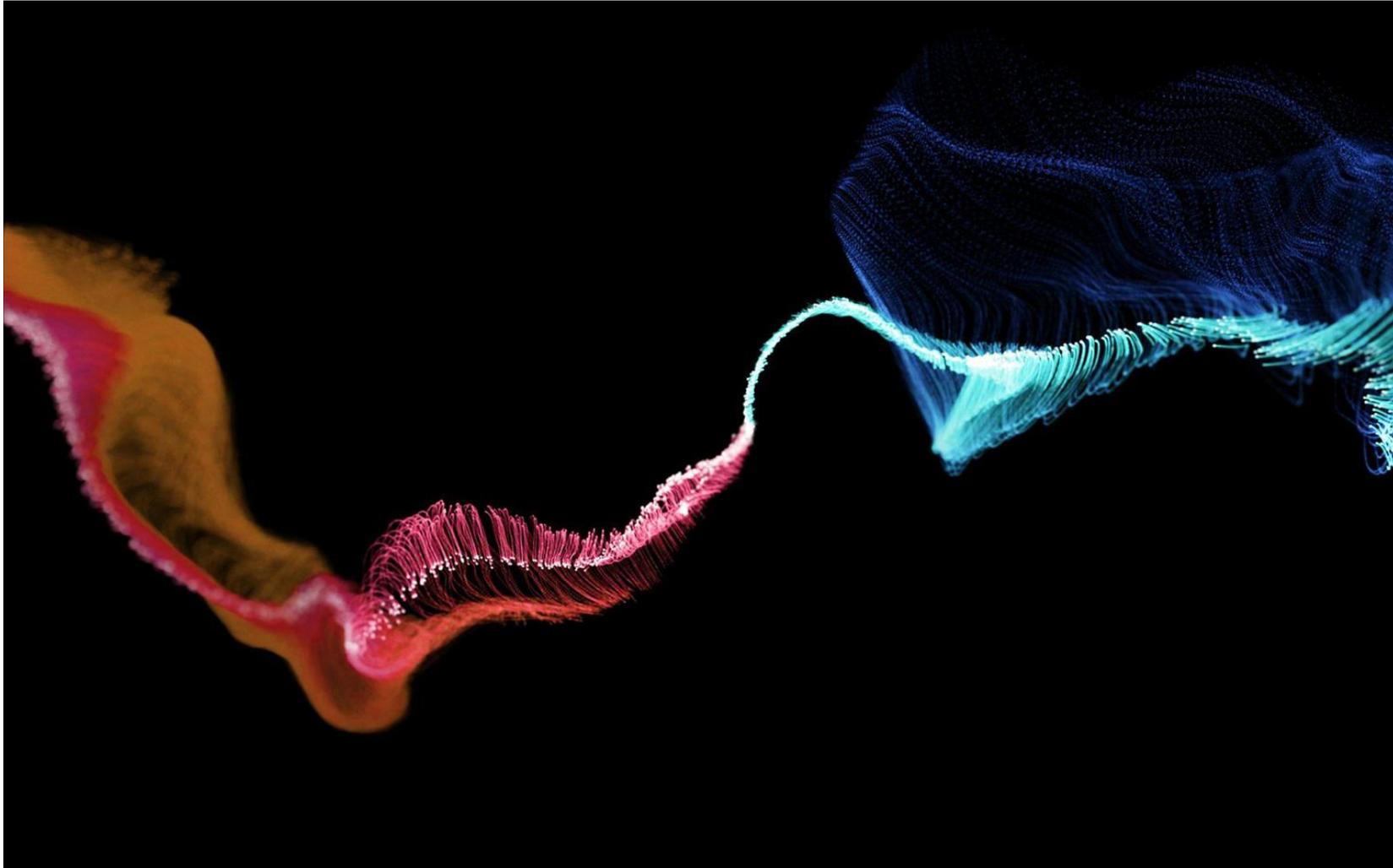
## Employability（エンプロイアビリティ）の向上

# “専門性”にプラスし、必要となる力

	不要となる力
1	操作の正確性
2	作業の素早さ
3	レートの制御
4	手作業の器用さ
5	手先の器用さ
6	機材・機械の操作力
7	応答の素早さ
8	手作業のぶれなさ
9	機器のメンテナンス、管理力
10	反応の正確さ

	もっとも必要となる力
1	<b>戦略的学習力</b>
2	心理学の知識
3	指導力
4	(社会の) 洞察力
5	社会学・人類学の知識
6	教育学の知識
7	協調性
8	独創性
9	豊かな発想力
10	アクティブ・ラーニングスキル

# 多様な知・技術の融合



# 融合による新たな可能性



## ワーク

現在のディプロマポリシーの先に、  
産業界ニーズの視点 ・ 未来創造の視点  
を踏まえたとき、これからの「企業との  
連携」はどんなことにフォーカスすべき  
と考えますか？



## ワーク

1. 個人でリサーチ、一人ブレスト
2. ペアでブレスト
3. 全体で共有  
※各自ワークシートに追記する

# シナリオ分析ワーク×未来志向

worksheet

**THINK**

シナリオ分析を通して、職業実践課程のカリキュラムデザインにおいて最も重要なことは何だと考えますか？

**THINK**

未来志向で考えると、今後「企業との連携」については、どんなことにフォーカスをすべきと考えますか？どんな可能性がありますか？

# 全体共有

- ああああああああああああ

3

## 集合研修：後半

# 研修の目的

職業実践専門課程において産学連携を推進する先生方が  
企業と協働する意義、価値を再確認するとともに、  
その実現に必要な考え方や視点を得、  
カリキュラムに実装する準備の機会とする



これからの社会で活躍できる人材育成のために  
産学連携を“キャリア教育”の視点でアップデート！

# 本日の学び

1	【演習】 自校のカリキュラムマネジメント：全体像と課題の特定
2	【演習】 効果測定規準の検討
3	【演習】 課題解決プランニング
4	【演習】 全体共有・学びのふりかえり

育成したい人材像、産業界のニーズのレンズで、  
現在の学生を見つめなおしたとき、  
カリキュラム・産学連携は、  
どのようにアップデートすべきでしょうか？

# ワーク：全体像と課題の特定

worksheet

ディプロマポリシーで育成をめざしている人材像 (意志・役割・能力)			
現在の学生と上記人材像とのギャップ			
カリキュラムのアップデートポイント			
項目	現在の課題感	課題への対応・解決案 (何を変わるべきか)	必要となるリソース (ヒト・モノ・カネ・情報)
企業との連携			
学校内体制			
学びの系統性			
資質能力の評価			

# 全体共有

- あああああああああああ

そもそも、現在のカリキュラムが

目的（＝めざす人材の育成）に

適う内容になっているか、どのように測っていますか？

# 効果測定之目的

成果を明らかにして  
目標の達成状況を分析する

カリキュラムとして  
学びがいのあるものだったか？

目標達成のための支援の手立てが  
有効に機能したか？

よりよいカリキュラムの提供  
よりよい支援の実現

# 効果測定の手順

効果測定は「実施後」に行うものではありません。

ディプロマポリシーに適う内容になっているか、  
プロセスを通じて成果と課題を明確にすることで、  
組織的に、質の高い取り組みに発展させることができます。

生徒の実態  
教員の願い

効果測定  
指標作成

考察  
成果・課題

支援  
改善

# 効果測定の手順



- ・ **アンケートは「事後」だけではなく、ぜひ「事前」にも行いましょう**  
カリキュラムの学習に関する知識・技能・技術についての理解度や、  
学生の興味関心を知ることによって、内容や企業連携の調整ができます
- ・ 学習目標に教員の願いを照らして、カリキュラム全体を設計します

# 効果測定の手順



- ・ **カリキュラムの効果測定のための指標を明確に設定**しましょう  
(本研修では、学生の人材像から「評価規準案」を作成します)
- ・ 効果測定のための指標を、連携先や関係者、教職員で共有しましょう
- ・ 効果測定するタイミングを戦略的に設定し、改善にいかしましょう
- ・ 「**定性的**」「**定量的**」な分析を**相互補完的に用いる**ことが必要です

# 効果測定の手順



- ・ 「定性的」「定量的」な分析を相互補完的に用いて、  
**「実際に（目標に対して）どうだったのか」をふりかえることが重要です**
- ・ 「成果」と「課題」を明確に言語化し、関係者と共有しましょう
- ・ 企業にも、企業側の視点でふりかえりとフィードバックを求め、  
双方にとっての価値づけと、**改善方向性を協働的に見出しましょう**

# 効果測定の手順



- ・ 学生の変容（評価規準をもとにした自己評価／他者評価／アンケート）と企業からのフィードバックを踏まえ、**具体的にどのような支援が必要か、具体的にどのような改善ができそうか、**次年度に向けて言語化しましょう

## ワーク

現在のディプロマポリシーの先に、  
産業界ニーズの視点・未来創造の視点  
を踏まえたとき、これからの「企業との  
連携」はどんなことにフォーカスすべき  
と考えますか？

# ワーク：効果測定のための評価規準

worksheet

3のレベルを基準（＝優）として検討しましょう

ディプロマポリシーで 育成をめざしている人材像	再度記入			
1 評価計画 (いつ、どのように、見取るのか)				
到達目標	4 (秀)	3 (優)	2 (良)	1 (可)
2 意志 定義：ああああ				
役割 定義：ああああ				
能力 定義：ああああ				

# 相互フィードバック

お互いの評価規準を交換し、

1. ディプロマポリシーから、どのように人材像  
=意志・役割・能力の定義をしたのか
2. 各規準の「3（優）」記述子の内容
3. 各規準の「3」以外の記述子のレベル感

について、意見交換、建設的フィードバックをしてみましょう

設定された評価規準に照らし、  
カリキュラムを改善していくために  
現状の課題にどのように対応していきますか？



現在のディプロマポリシーの先に、  
産業界ニーズの視点 ・ 未来創造の視点  
を踏まえたとき、これからの「企業との  
連携」はどんなことにフォーカスすべき  
と考えますか？

# ワーク：課題解決プランニング

worksheet

PLAN

課題への対応案について自校・学科でまず初めに取り組むべきことを特定してください。また、なぜそこから始めるべきなのでしょう

それを実行するために必要なリソース（ヒト・モノ・ジウホウ・カネ）

取り組みの成果をなにとするか（取り組みの先にどういう状態をめざすか）

DO

必要なリソースをどのように調達するか

取り組みの具体（誰と、いつまでに、なにをするか）

CHECK

実施してみでの気づき

ACTION

次なるアクション

# 全体共有

- ああああああああああああ

# 現場での実践へ

これからの社会で活躍できる人材育成のために  
産学連携を“キャリア教育”の視点でアップデート！

- 今回検討した「効果測定評価規準案」、「課題解決プランニングシート」を校内で共有しましょう
- 今回の内容をいかした校内、学科内の研修会・研究会をしましょう
- 「課題解決プランニングシート」をもとに、実際に課題解決に取り組みましょう
- 「シート」内の「CHECK」、「ACTION」に実践の結果や今後について記録し、他の教職員と連携し、PDCAを回していきましょう

ディプロマポリシーに対応する

「職業教育」を超えた職業実践専門課程ならではの

“未来の学び”を実現していきましょう

**お疲れ様でした！**

文部科学省 令和5年度

専修学校教育の質保証・向上を進めるために必要な教職員研修プログラム開発事業

# 職業実践専門課程 産学連携推進のための 教員スキルアップ研修

<検証版>